

ふくしま

再生 短信

2021/4/10-11 飯館村小宮・大久保金一農園訪問

マキバノハナゾノに集う

二〇二一年 七年前の二〇一四年、四月十日夕 百人以上の有志による桜刻、飯館村の植樹が始まる。ハのこの日は本宅前の「ちどり



1 小宮の大久保金一農園、愛

称・マキバノハナゾノへ。佐須小の満開の桜を堪能した直後だけに小宮の桜並木に大いに期待しての訪問であった。金一さんには直ぐにお会いできたのだが（写真1）。小宮の桜、五月十日頃満開とのことである。飯館村は広い。佐須と小宮で気象条件がちょうどひと月違うのである。



2



3

ナゾノ東斜面には一面の水仙の絨毯の両側にまだ幼い桜並木が展開して

ごとである（写真3）。翌日、老若男女が集う小宮再訪。金一さんは十歳から野の花と出合い、

いる（写真2）。この日、金一さんが案内してくれたのは本宅前の「ちどり桜」。文京区本郷の居酒屋「ちどり」で募った五十余名の有志の寄付による植樹である。有志の中には再生の会の溝口勝さんの名がある。天にも届けと蕾をたつぷり蓄えた枝ぶりがみ

以来七十年花を通して日本列島の北から南まで多くの花友と出会ってきた。桜並木北側に設置された四枚の看板に記された植樹参加者名簿で花友の広がりを見る（写真4）。



4

おやあのセゴビアが小宮に！ふと水仙の丘を見上げると心安らぐギターの色。暫し聞かせていただく。「さすらいのギタリスト」こと渡邊塊（わたなべ・かい）さんとの出会い（写真5）。ハナゾノの磁場は成長を止めない。（文責&撮影・若林一平）



5